

開成初の全道トップ飾る

統計グラフで効果的なポスターを

開成校新聞

発行 開成中等新聞局
発行責任者 宮崎
* * *
制作者 沼津 松原 佐野

1/365コマ



新聞局からの挑戦状③
Q新聞局のパソコンの机の下に、将棋の道具と一緒に眠っている謎の道具。これは何の道具でしょうか。

3年生がコスモリサーチの取り組みとして応募している「北海道統計グラフコンクール」にて、3年1組の竹鼻紗雪さん、沼津陽咲さん、松原莉央さんの作品「日本はフルーツ後進国!」が最高賞の知事賞を、3年2組の長尾梨央さん、安田乃々さんの作品「好景気は円安から作る!」が佳作を受賞した。また、市立札幌開成中等教育学校として学校賞も受賞した。



本校での表彰式の様子

統計グラフコンクールとは、統計知識の普及と統計の表現技術の向上を目的とした、道が画主催する全道の学生を対象としたコンクールのことだ。主に学校や地域などの身の回りのことを、データを収集してグラフにし、ポスターにまとめたものが評価される。

本校では、3年生で行うコスモリサーチでの探究活動で作成したポスターを毎年この統計グラフコンクールに応募しており、知事賞を受賞したのは開成中等初のことである。今回知事賞を受賞した3人は、「はじめは、テーマ決めにもものすごく時間がかかり、提出期限に間に合うのかなどの不安もありました。ですが、工

夫を重ね、最終的には「知事賞」という素晴らしい賞をいただけること、本当に嬉しく思っています」と振り返った。

今回の知事賞の作品について、選考委員の方々からは「関連について明らかにされていて、紙面もシンプルで読みやすい構成」「読む人のことを考えた工夫がされていて良いと思う」「結果はグラフで可視化されているが、相関係数や有意差などを入れれば、より根拠を明確に示せたのではな

コスモリサーチとは?

開成の三年生において、コスプロの時間の一部を使って取り組んでいる探究活動だ。クラス中で、同じ分野について興味を持ち、研究したいと考えている3〜4人でグループを作る。自分たちで

仮説を立て、探究サイクルを二度回すことにより、データを収集し、統計的な処理を含むデータ処理を行う。仮説を検証することで、客観性のある結果を提示することを目的として行われている。

いか」との講評を受けた。3人は「今回得た統計グラフやポスターの知識を、今後の学びに活かし、さらなるレベルに挑戦したい」と述べていた。

* * *

本校のホームページには、今回の作品が掲載されている。他にも校内の様々な活動が記録されているため、ぜひのぞいて見てほしい。



ポスターはこちらから